

前回審査会（平成27年3月3日）における指摘事項

| 番号 | 指 摘 事 項 | 都 市 計 画 決 定 権 者 の 考 え 方 |
|----|---|---|
| 1 | <p>配慮書 p139 で、事業実施想定区域から富士見町公民館より離れた場所に小沢校区市民館があるが、p145 の表 5-1-9(2)の二酸化硫黄の短期予測結果（中立時[D]）では富士見町公民館より小沢校区市民館の値の方が高い。</p> <p>また、小沢校区市民館における複数案の各予測値を比較すると、小沢校区市民館からの距離に対して複数案の位置が近接しているにもかかわらず、北案、東案に比べて西案の値だけが大きい。</p> <p>これらの結果に問題ないか。</p> | <p>別紙1「大気の状態と流れ方」に示すとおり、一般的に大気安定度が中立時の場合、最大着地濃度は不安定時よりも遠方で出現します。</p> <p>別紙2「断面コンター図」に、大気安定度B（不安定時）及びD（中立時）の場合について、北案の煙突からの各予測地点方向の断面予測結果（上図）及び各案の煙突からの小沢校区市民館方向の断面予測結果（下図）を示します。</p> <p>大気安定度D（中立時）では、富士見町公民館よりも遠くにある小沢校区市民館の方が高い数値となりました。【中立時－上図参照】</p> <p>また、各案における小沢校区市民館の値については、各案の煙突からの水平距離や煙源の高さ（地盤高を含む。）に影響され、最も遠方に位置し、かつ、地盤高が低い西案の数値が高い結果となり、北案と東案については同程度の値となりました。【中立時－下図参照】</p> |
| 2 | <p>複数案の各案は集落地域からどの程度離れているのか。</p> | <p>住宅の状況としては、別紙3「近隣住居の状況」に示すとおりです。</p> <p>なお、対象事業実施想定区域から直近民家までの距離は、西案は約 100m、北案は約 20m、東案は約 75m です。</p> |

| 番号 | 指摘事項 | 都市計画決定権者の考え方 |
|----|--|--|
| 3 | <p>配慮書 p44 で既存施設の敷地境界の20か所の地点で騒音測定をしている経緯、p11で騒音の規制基準値より5dB低い自主基準値を設定した経緯を示されたい。</p> | <p>資源化センターは、焼却施設の他に粗大ごみ処理施設、し尿処理施設、高速堆肥化施設、鶏糞乾燥施設等からなる総合廃棄物処理施設として昭和55年より稼働を開始しております。当初より、敷地境界で騒音測定を実施していますが、それぞれ施設の配置場所や稼働時間の違いなどから、周辺環境に与える影響をより細かく監視するため20か所で測定しています。</p> <p>資源化センターは、平成11年3月17日豊橋市告示第50号「騒音規制法の規定に基づく騒音の規制地域の指定及び規制基準等の設定」の第3種区域2に存在します。資源化センターは同告示第2項備考アに定める特例基準(近隣に病院、学校がある場合、規制値から5dBを減じた値)には該当しませんが、廃棄物処理施設という特殊性を踏まえて周辺への影響を考慮し、特例基準を準用して騒音の規制基準値より5dB低い自主基準値としております。</p> <p>計画施設においても同等以上の自主基準値を設定する検討を進めてまいります。</p> |
| 4 | <p>豊橋市資源化センターから浜田川に流入する現在及び新施設稼働後の排水量はどれほどか。</p> | <p>施設全体のプラント系排水、生活排水は併設のし尿処理施設で処理しています。現在、資源化センター施設全体での放流量は日平均約600m³です。</p> <p>内訳としては、焼却施設分が日平均約200m³、し尿処理施設分が日平均約400m³(し尿・浄化槽汚泥：140m³、雑排水やし尿処理施設用水など：260m³)となっております。</p> <p>新施設稼働後の排水量は、平成29年度からバイオマス資源利活用施設の稼働によって、し尿・浄化槽汚泥の日平均約140m³とし尿処理施設用水の一部が減少するものと見込まれます。</p> |

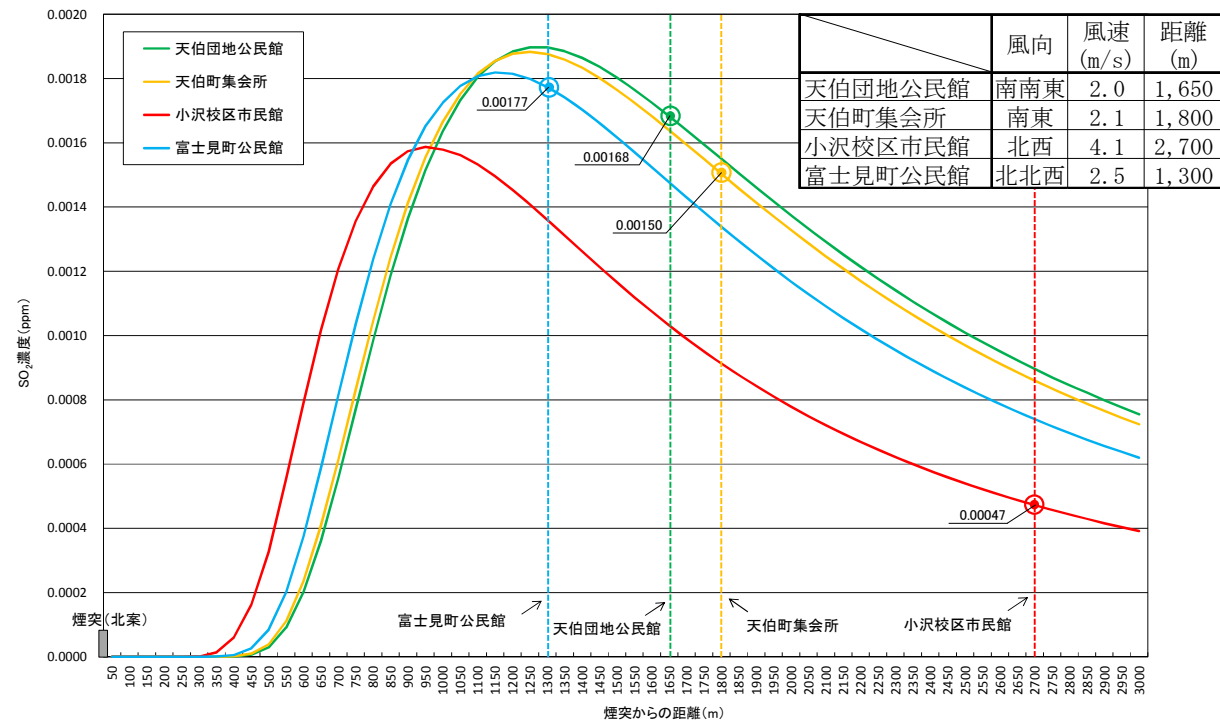
| 番号 | 指 摘 事 項 | 都 市 計 画 決 定 権 者 の 考 え 方 |
|----|--|--|
| 5 | <p>配慮書 p11 で、全窒素及び全リンについては自主基準値と規制基準値が同じになっている。排水が流入する三河湾において環境基準を達成できていない状況から、計画施設において、より厳しい自主基準値を設定する考えはあるか。</p> | <p>資源化センターでは、全窒素及び全リンについて、基準値以内であることを常時監視しております。</p> <p>計画施設においても同等以上の自主基準値を設定する検討を進めてまいります。</p> |
| 6 | <p>配慮書 p53、54 で東案は「人工改変地」、「人為的な改変を受けた部分」となっているが、この場所が高い土地を削って造られたのか、あるいは、低い土地を埋めて造られたのかについて経緯を示されたい。</p> | <p>昭和36年と平成元年の地形図（別紙4「土地変遷」参照）を比較すると現況地盤に比べて高い部分と低い部分が存在しており、高い土地を削り、低い土地を埋めて整備されたものと考えられます。</p> |
| 7 | <p>事業実施想定区域周辺の地盤は砂礫が卓越しており、雨水等が浸透しやすい。事業実施想定区域の雨水等が流れる方向にある南側の比留茂川の水質の状況はどうなっているか。</p> | <p>比留茂川の水質については、調査データがないため方法書以降において調査を行ってまいります。</p> |

| 番号 | 指摘事項 | 都市計画決定権者の考え方 |
|----|---|---|
| 8 | 豊橋市資源化センター直近に高圧電線が敷設されているが、複数案との位置関係はどのようになっているか。各案において建物の支障となることはないか。 | 別紙5「資源化センター周辺の鉄塔と高圧線の位置」に示すとおり、各案において高圧電線が建物の支障となることはありません。 |
| 9 | 豊橋資源化センターに対する苦情、要望等の状況はどうか。 | <p>豊橋市資源化センターでは、毎年1月上旬に本施設から半径1.5km圏内にかかる13町の自治会長に対し、本施設の稼働状況等の報告、及び地域の要望等を伺う地域懇談会を開催しています。資源化センターの施設運転に係る苦情はありません。</p> <p>その他の要望は下記のとおり多岐にわたっており、関係部局への働きかけを行うなど、地元との良好な関係の構築に努めています。</p> <p>【地域懇談会報告内容】 年間搬入ごみ量、資源化センター施設稼働状況、環境調査結果、周辺リサイクル施設稼働状況、余熱利用施設（りすば豊橋）利用状況</p> <p>【地元からの要望】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民間収集車両の運転マナー改善要望 ・道路付帯施設（カーブミラー、道路灯など）の設置要望 ・県道交差点の安全対策、渋滞解消要望 ・街路樹の剪定 ・不法投棄ごみの撤去、啓発立看板の設置等 |
| 10 | 今後、生物多様性戦略のあいち方式の考え方も取り入れながら、在来の普通種を含めた生き物が生息できる場所を公共用地の中で造っていくという方向性で方法書以降の手続を行っていただきたい。 | 施設整備に当たっては、生物多様性戦略のあいち方式の考え方を含め、様々な環境配慮について検討していきます。 |

別紙1 大気の状態と煙の流れ方 (出典: 大気環境予測講義 (ぎょうせい出版 岡本眞一著))

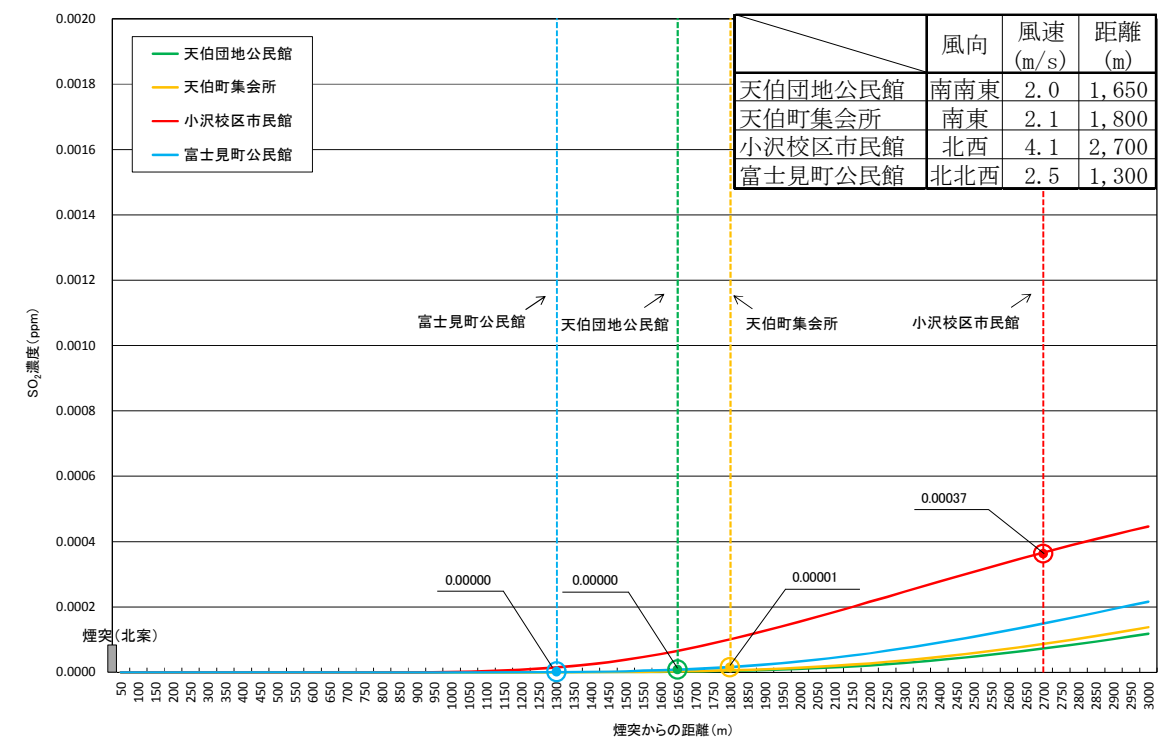
| 大気の状態 | (注) 気温こう配 | 出現時期 | 煙の流れ方 | 高煙源についての 地上濃度 |
|--------------|--|--------------------------------------|--|--|
| 不安定 | <p>A graph showing temperature T on the horizontal axis and height z on the vertical axis. A solid line shows a steep negative slope from the ground level 0 to a height z_d. A dashed line shows a shallower negative slope. The angle between the solid and dashed lines is labeled γ_d.</p> | よく晴れた 日中 あまり風は 強くない | ループ型…上下に 大きく蛇行、時間 平均をとると輪郭 は点線のような なる。 | ときどき、高濃度が 出現する |
| 中立～弱安定 | <p>A graph showing temperature T on the horizontal axis and height z on the vertical axis. A solid line shows a moderate negative slope from the ground level 0 to a height z. A dashed line shows a shallower negative slope.</p> | 常に現れる (特に曇天時 や風のやや強 いときに多い) | 錘型 | 平均的 (最大着地濃度は 不安定時よりも遠 方で出現し、やや 低い値となる) |
| 強安定 (逆転層) | <p>A graph showing temperature T on the horizontal axis and height z on the vertical axis. A solid line shows a negative slope from the ground level 0 to a height z, then it turns upward, forming an inversion layer. A dashed line shows a shallower negative slope.</p> | 風の弱い夜間 | 扇形…扁平な扇の 形状 | 地上濃度は非常に 低い |

【大気安定度 B (不安定時)】

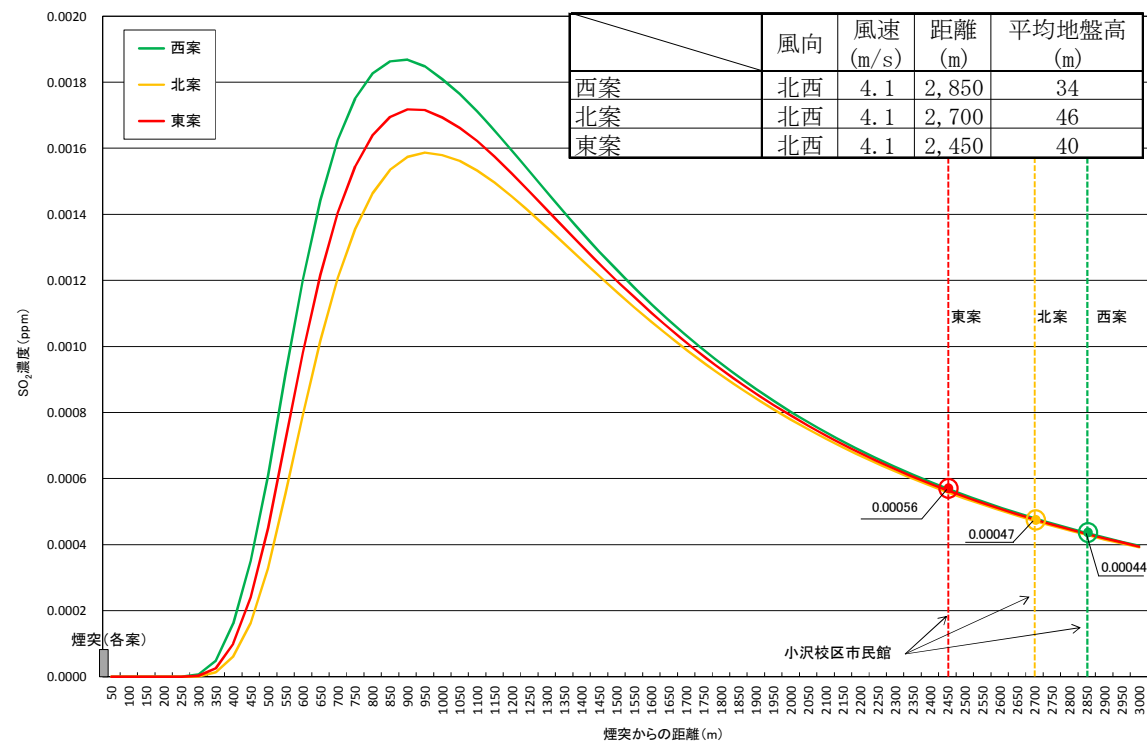


<北案の断面予測結果>

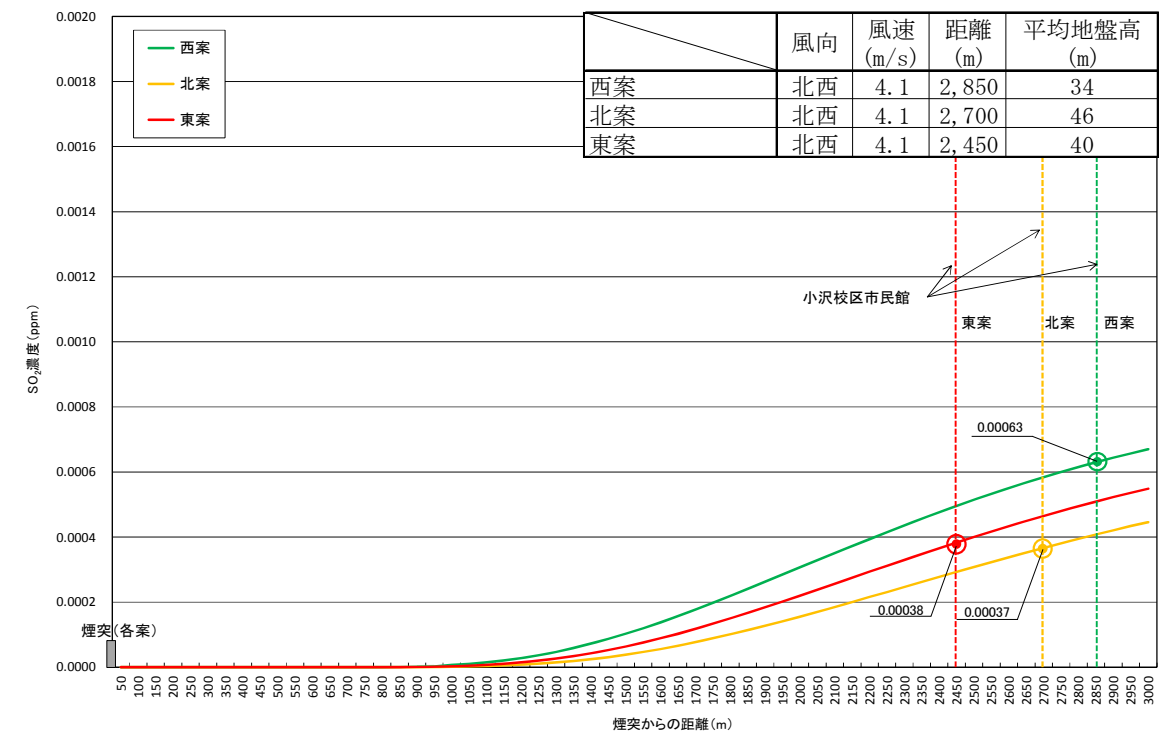
【大気安定度 D (中立時)】



<北案の断面予測結果>



<各案の小沢校区市民館に対する予測結果>



<各案の小沢校区市民館に対する予測結果>

